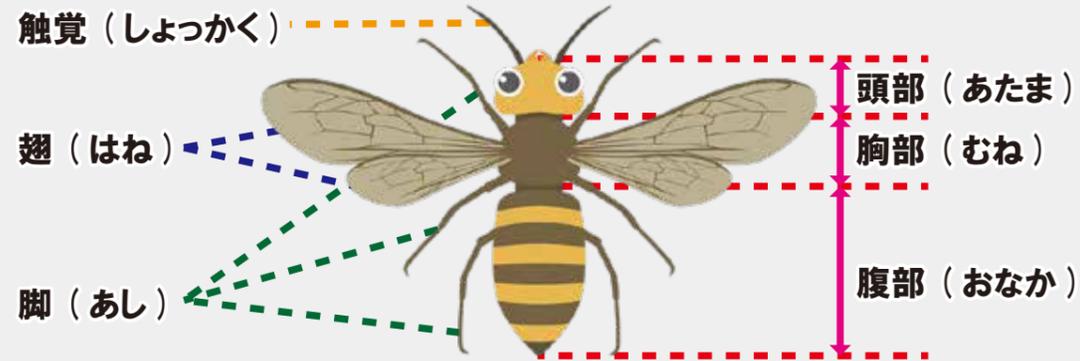


こんちゅう

昆虫ってなに？



昆虫は地球でしゅるいが一番多い生き物です。
とくちょうは、体が頭・むね・おなかの3つの部分に分かれています。
むねには左右に3本ずつ、合わせて6本のフシのあるあしと、左右に2枚ずつ、合わせて4枚のハネがあります。 ※例外もあります。

おおごえこんちゅうかん

大越昆虫館のご案内

- ・大越昆虫館は、昆虫学者や同好者が運営する私設の昆虫館です。
- ・年間を通してイベントを開催。昆虫に親しむ機会を設けています。

場所：加須市大越 2688 番 2 (大越郵便局の前)

開館日：土曜・日曜・祝日、11月4日 ※7/25～8/11 は夏休み特別開館日

開館時間：午前 10 時～午後 4 時

夏休み期間のイベント

7/22 (土) 午後 6 時 30 分～ 夜間採集・観察会

8/13 (日) 午前 10 時 30 分～ 昆虫採集と標本作成

8/26 (土) 午後 6 時～ 夜間採集・観察会

※要予約。詳細はチラシでご確認ください。

第14回 (通算第39回) 自然科学展

～昆虫たちの世界～

～ごあいさつ～

私たち人類の暮らす地球には数多くの生物がありますが、その種類は全世界で約 175 万種といわれています。中でも昆虫は約 95 万種を数え、最もバリエーションに富んだ生物であることがわかっています。昆虫は各地の気象や環境に適応し、自然のサイクルに深く関わって繁栄してきました。

埼玉県では、埼玉昆虫談話会の調査により 32 目 508 科 9826 種もの昆虫が確認されています。このうち、絶滅または絶滅の恐れがある昆虫として、560 種が『さいたまレッドデータブック』に記載されました。昆虫の種類や数の減少は、生息環境の変化や外来種の侵入などによるものと考えられます。昆虫の減少は、私たちの生活が地球に与える影響を示す指標の一つであり、自然のサイクルが崩れ始めたことを知らせる警鐘と言えるでしょう。

昨今、生物多様性や循環型社会の構築が社会的な課題とされていますが、現代に生きる私たちには、将来にわたって暮らしていける地球をのこす義務があります。そしてそのことを人類全体で理解・共有し、実践していかなければなりません。今回の自然科学展をとおして、子どもたちが昆虫の世界にふれ、将来の社会的な課題について考える一助になれば幸いです。

終わりに、今回展の開催趣旨をご理解いただき、展示標本のご出品など惜しみないご協力をいただいた大越昆虫館の皆さまを始め関係各位に厚くお礼申しあげ、開催のごあいさつといたします。

会期：令和5年7月22日(土)～8月31日(木)

【休館日：毎週月曜日、8/4】

時間：午前9時～午後5時

会場：熊谷市立熊谷図書館 3階 美術展示室

(熊谷市桜木町 2-33-2) 048-525-9463

主催：熊谷市立熊谷図書館 共催：大越昆虫館